

# 形骸化きわまる財団評議員会 その問題点と改革への提案

## 全国協議会 ニュース

発行所  
全国骨髄バンク  
推進連絡協議会  
〒160-0005 東京都  
新宿区愛住町23-1  
Woody21-9階  
TEL.(03)3356-8217  
FAX.(03)3356-8637  
発行責任者  
渡辺孝一  
http://www.marow.or.jp/  
E-mail:info@marow.or.jp

郵便振替口座  
00150-4-15754  
銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655



運営委員長  
陽田秀夫

骨髄移植推進財団の評議員を  
引き受けて1年たった。昨年6  
月に続いて、私にとつては2回  
目の評議員会が3月30日に開催  
された。財団の各種会議の中心  
は、外からはなかなか見えにく  
い。決算書や議事録は発表され  
るものの、どのような議論がな  
されているのか、そのプロセス  
が明らかにされることはなかつ  
たからだ。

評議員の一人として私の感想  
を含め、会議の内容を報告する  
ため紙面をお借りした。現在、  
形骸化してしまっている理事  
会・評議員会を活性化させるこ  
とこそ、骨髄バンク改革の第一  
歩と考えるからである。

### ●経営分析が不在の運営

議題は「平成9年度の補正予  
算案」「平成10年度事業計画案」  
「平成10年度予算案」であった。  
補正予算案は決算見込みに近い  
もので、単年度約900万円の  
赤字。国際協力事業特別会計  
は当初1億700万円の見込み  
が2584万円の収支。NMD  
Pとの正式提携から満1年、当  
初は提供する数と提供を受ける  
数が対等と考えて予算を組んだ  
が、0対14となる見込みとの説  
明。0対14になった理由を質問  
したが、明確な答えはなかった。  
実績が見込みと大きく異なった  
ときに、その原因についての経  
営分析は行われていないらし  
い。

10年度の事業計画の中で新規  
編成する事務局と、そのまま承  
認する理事会の無責任さはなん  
とも情けない。経営者不在だ。  
赤字が続けば、患者負担金の  
引き上げが議論になるのは目に  
見えている。患者さんはいくら  
も命がかかっているのだから。  
「取りやすいところから取る」  
という安易な、患者さんの弱み  
につけ込むような発想は絶対許  
せない。患者負担金引き上げの  
議論は、あらゆる努力の先にあ  
る話だ。保険適用についてもポ  
ランティア団体任せではなく、  
財団自身も行動を起こすべき  
だ。患者の痛みを感じてこそ、  
血の通った骨髄バンクになれ  
る。

### ●無策ぶり示す赤字予算

最も問題なのが平成10年度予  
算案。単年度で9000万円の  
赤字予算だ。前期繰越金を食  
いつぶし、2年を待たずして破産  
状態になる予算である。私は昨  
年6月の評議員会で、補助金削  
減が予想され今後財政的に苦し  
くなることから、特別会計にて  
収益事業を行ってはどうかと提  
案しておいた。

この件についてどのような検  
討をしたか質したところ、ほか  
の公益法人が税務署に軒並みや  
られているから(何もしなかつ  
た)との回答。まるで答えにな  
っていない。公益法人にとつて  
その公益目的を遂行するために  
必要な場合、収益事業を行うこ  
とは認められている。その場合、  
税法上の処理を適正に行えばな  
んの問題もない。何もしなかつ  
た言い訳に問題をすり替えた回  
答をしたとしか思えない。知恵  
を出し努力をすれば現体制のま  
までも数千万円の収益事業は可  
能であろう。当然のことながら、  
財政的な中・長期計画について  
質問したが、何も出てこなかつ  
た。

何も考えずに大赤字の予算を  
編成する事務局と、そのまま承  
認する理事会の無責任さはなん  
とも情けない。経営者不在だ。  
赤字が続けば、患者負担金の  
引き上げが議論になるのは目に  
見えている。患者さんはいくら  
も命がかかっているのだから。  
「取りやすいところから取る」  
という安易な、患者さんの弱み  
につけ込むような発想は絶対許  
せない。患者負担金引き上げの  
議論は、あらゆる努力の先にあ  
る話だ。保険適用についてもポ  
ランティア団体任せではなく、  
財団自身も行動を起こすべき  
だ。患者の痛みを感じてこそ、  
血の通った骨髄バンクになれ  
る。

### ●命かけた患者さんを思え

評議員会では賛成多数で承認  
されようとしたので、賛否を明  
確に表決するよう議長に求めた  
結果、私と大谷貴子評議員以外  
は全員が賛成し、原案どおりの  
承認となった。

公益法人の理事会は最高議決  
機関であり執行機関でもある。  
監事は会計監査のみならず、理  
事の職務執行状況をチェックす  
る役割もある。評議員会は理事  
会をチェックする立場だ。理事  
会決議を差し戻す権限もある。  
さらに主務官庁(厚生省)の監  
督下にもある。制度上は幾重に  
もチェック機能があるはずなの  
に、すべて形骸化して機能して  
いないと言ったら、言い過ぎだ  
ろうか。

### ●納得いかぬ問題の数々

今回、納得いかなかった点を  
何点か紹介したい。  
その1。今回に限らず、理事  
会も評議員会も出席者がきわめ  
て少ない。総数の半分以上で、  
委任状によって成立している状  
況だ。過去13回の理事会出席状  
況の資料を送ってもらった。本  
人出席率は平均で42%で、最高  
57%、最低32%。このような状  
況で、理事の責任を果たせるの  
だろうか。

その2。ここ2カ月ほどで起  
こった諸問題(日米患者不公平  
問題、患者負担金未収金問題な  
ど、厚生省の指導を受けた重大  
問題)に対する説明も謝罪も、  
だれからも口にされることはな  
かった。それどころか、理事長  
は挨拶が終わると「公務」によ  
って退席した。前回もそうだつ  
た。途中退席は慣例になつてい  
るようだ。議案の説明と質問に  
対する回答は理事として一人出  
席した常務理事が担当。常務理  
事が回答できない質問には、事  
務局席から事務局局長が答えた。  
私の常識では、理事長、副理  
事長、常務理事といった三役は、  
出席して誠意ある対応をすべき  
だと思ふ。評議員会をどのよう  
な位置づけで考えているのだら  
うか。規約上やらなければなら  
ないから開催しているだけなの  
か、と思えてしまう。

### ●多様な分野から人選を

最後に理事会、評議員会の改  
革を提案しておきたい。理事は  
ぜひとも財団の経営に責任をも  
つていただきたい。必要があれば  
常任理事会を設置することも  
考えるべきだろう。そのために  
は、肩書だけの理事、形式だけ  
の理事会から脱する理事の選任  
をお願いしたい。

事務局の業務執行に適切な指  
示・命令のできる理事会になら  
なければ、今後も万が一不幸事  
があったときに、責任者が「私は  
知らなかった」を繰り返すこと  
になりかねない。  
また、評議員会は多様な分野  
の方々になつていただくのが望  
ましい。現在の評議員構成は医  
療従事者が多くを占めている。  
ドナー経験者は一人もいないだ  
ろう。ドナーや患者さん、ボラ  
ンティアなどが半数以上になれ  
ば、理事会をチェックできる評  
議員会として機能するだろう。

## 健康保険適用に 前向き答弁

参議院委員会で厚生省局長

参議院の国民福祉委員会(4  
月7日)で、共産党の西山登紀  
子氏が骨髄バンク関連の質問に  
立ちました。国会質問自体が数  
年ぶりで、西山氏の質問は「ド  
ナー登録数の目標値」と「保険  
適用への可能性」の二つに絞ら  
れました。  
「目標値」については、財団  
の理事会・評議員会報告と同じ

で、保健医療局の小林秀資局長  
は「長期的には30万人、当面は  
20万人とする」と答弁しました。  
西山氏が「長期的とか当面とか、  
具体的にはどうなのか」と尋ね  
ましたが、小林局長は具体的な  
答弁を避けました。  
注目されるのは、保険適用問  
題です。現在はドナーの保険  
料・健康管理費、コーディネート  
料など約50万円が患者負担金  
となつていますが、保険局の高  
木俊明局長は「これら周辺の必  
要経費について、現行法でいけ  
るのか、それとも法改正が必要

### 骨髄バンクの最新情報をお知らせする

●ドナー登録者「30万人」新目標を決定  
骨髄バンク開始以来、目標としてきたドナー登録者10万人は、本年夏頃達成できる見込みです。昨年来、次のドナー登録者数の目標設定について検討してきましたが、3月30日に開催された財団理事会・評議員会において「最終的には30万人、当面は20万人のドナー登録者数をめざす」ことが決定されました。

●「HLA照合サービス」開始、BMDWへの参加  
各国骨髄バンクが行っている予備的照合システム(正式な患者登録に先立って適合ドナーの有無照合)が、4月13日(月)から日本赤十字社の協力により、国内外の患者主治医・骨髄バンクからの適合ドナーの有無・人数の照合に必ず「HLA照合サービス」を無料で開始しました。また、この度、各国骨髄バンクのドナーHLA種類別データの共同利用を行っている・世界骨髄バンクドナーデータ集計BMDWシステム(現在、32カ国の36骨髄バンク・16臍帯血

●国際協力事業の概況(1997年4月~1998年3月末)  
日本→アメリカ 予備検索209件(適合126件) 正式登録102件、移植14件  
アメリカ→日本 照会426件、正式登録・検索15件(適合10件)  
日本→台湾 予備検索100件(適合5件) 正式登録27件  
台湾→日本 照会1件、正式登録・検索1件(適合0件)  
●映画「友情-FRIENDSHIP」一般公開  
白血病の少女(14歳)をクラスメイト全員が励ます映画「友情」が、来たる5月16日から、東映(洋画)系で全国一般公開されます。この映画は「CNNニュース」で報道された実話をもとに、14歳という多

### 骨髄バンクNOW

感な時期の少年少女たちと周囲の温かな愛を深い共感をもって描き上げています。文部省選定作品で厚生省・財団が推薦しております。一般の大人だけでなく中学・高校生に見ていただきたい作品です。  
ロードショー後や上映されない地域において、団体での上映会もできますので財団事務局までご相談下さい。

3月末のドナー登録者数、患者登録数及び移植数	
【ドナー登録者数】	94,818人
【患者登録者数(累計6,257)】	現在数 1,599人
【骨髄移植例数(累計)】	1,478例

骨髄バンクボランティアダイヤル  
フリーダイヤル  
0120-892-106

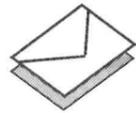


### 佐藤きち子患者支援基金休止へ

佐藤きち子さんのご遺志により創設された「患者支援基金」は、1996年3月の第1号以来、本年3月までに17件(67万4千円)を給付しました。基金残高が約95万円となり、さらに2件給付すると元金がなくなり、新たな申請を受け付けることができなくなりました。

そこで、4月の運営委員会で

### 各地のり 各たより



各地のたよりを  
写真を添えて  
お寄せください。

### 神奈川 鎌倉四覚寺 ピアノ三重奏

こぢんまりとした北鎌倉の駅で降り、踏切を渡ると、そこは鎌倉五山のひとつ四覚寺の山門である。かなり急な坂道を左に登り詰めた所、松の香も残る新築されたばかりの白雲庵本堂に突き当たる。コンサート会場である。

本堂の中央欄の四柱4本に囲まれた奥に仏像があり、その前にグランドピアノ。演奏者はフリップ・ヤング氏、そして向かって左にバイオリンの三戸素子さん、右にチェロの小澤洋介氏がスタンバイ。

「ワンローカスミスマッチどころではない」と思いつつ、毎年200名程度なので昼夜2回となった。このコンサートは毎年多くの檀家さんに来ていただけることもあり、今回も昼の部は219人、夜の部は120人という大入りであり、大好

### 心からのご寄付を ありがとうございました

3月24日~4月20日

山崎 紗智恵	現金	5,000円
匿名	切手	1,960円
村上 順子	現金	2,880円
国際ソプロチミスト半田	現金	50,000円
(財)ライオンズ日本財団	現金	2,000,000円
(株)野本鉄工建設	現金	5,000円
日本インシュレーション(株)有志	現金	2,245円
国際ソプロチミスト豊中一千里	現金	300,000円
(学)花田学園理事長 櫻井康司	現金	50,000円
青森県社会福祉協議会	切手	29,293円
阿原一良	現金	10,000円
毎日新聞東京社会事業団	現金	500,000円

### ◆佐藤きち子患者支援基金

中上清吾	現金	1,000円
三上郁恵	現金	100,000円

(敬称略)

活動資金の援助をお願いします

銀行口座  
さくら銀行 新宿支店  
普通 5666655  
郵便振替口座  
00150-4-15754  
全国骨髓バンク推進連絡協議会



2月11日~16日、鹿児島最大のデパート「山形屋」で開催されました。

小野寺南波子さんの著書「マモ、天国の住所を教えてください」を3

### 鹿児島 MAMOの メッセージ展

評のうちに終わることができた。サンクト・フローリアン・トリオ、司会の坪郷さん、さらに四覚寺の皆様が心より感謝申し上げます。

ところで、今回このコンサートを聞きに北海道から飛行機で飛んできた。驚くべき人は札幌の島山氏である。彼はサンクト・フローリアンの北海道コンサートツアーをもうろくろみ、コンサート雰囲気の視察を兼ね、

年前に県下の公立高校全校に寄贈して有りましたので、若者の関心が高く、たくさんの方々が来場がありました。また年輩の女性の中には涙をながしながらたねんに作品を読んでおられる姿も見られました。

期間中に鹿児島県内の地方都市で17歳の少年が91歳の独居老人を殺すというショッキングな事件が発生し、連日の報道の中で改めて「命」の尊さというものを考えさせられたことでもありました。マモ君のメッセージと余りにもかけ離れた若者の行動が重なったために、いっそう反響を呼びおこしました。

### 広島 骨髓バンクの充実と 臍帯血バンクを 考えよう

3月14日広島県立生涯学習センターにて、100名近くの参加者のもと「骨髓バンクの充実と臍帯血バンクを考えよう」というシンポジウムが開催されました。

最初に骨髓移植推進財団普及広報委員長の清水透さんが、「ボランティアの心」という題で話をされました。娘さんの発病をきっかけにとびこまれたボランティアの道、その原点は「患者さんを助けよう」という一言だったとか。常に患者さんを中心にということを確認しながら活動を進めていくことの大切さを話されました。

最後に、広島大学医学部小児科の小林政夫先生が臍帯血移植の実態について話をされ、臍帯血バンクとともに臍帯血バンクの重要性とさらなる研究、施設

### 東京&京都 あやちゃん展 & 墨跡展

東京マリナーロータリークラブの5周年記念行事の一環として、クラブの特別代表、京都・醍醐寺の仲田順和総長の地元、醍醐駅ギャラリーで、「あやちゃんの贈り物/墨跡展」が4月5日~12日まで開催されました。



### 再生つばさの会 10周年記念事業 開催

再生つばさの会(再生不良性貧血・骨髄異形成症候群・発作性夜間血色素尿症患者・家族の会)は本年度10周年を迎え、定時総会ならびに記念シンポジウムを次の通り開催いたします。皆様のお越しをお待ちしています。

の寄付金が集まりました。11日には、海部幸世会長と共に東京の会のメンバー18名が感謝状贈呈式に参加し、あやちゃんのお父さん三瓶和義さんからも挨拶していただきました。開催にあたりご協力いただいた、関西協会の方々、京都患者家族の方々、大変ありがとうございました。その後は、東京の会修学旅行として、楽しい京都見物を行い、大いに英気を養いました。



### 富永一朗さんがイラスト寄贈

漫画家・富永一朗さんが右のイラストを描いて下さいました。「骨髓バンク運動にご活用下さい」との温かいメッセージをいただいておりますので、各地団体でご活用下さい。

日時: 6月7日  
10:00~16:00

場所: 東京港区勤労福祉会館  
(JR田町駅下車5分)

●シンポジウムパネリスト  
(敬称略)  
東邦大学・月本一郎(司会)、名古屋第一日赤・小島勢一、東京女子医大・溝口秀昭、東海大・加藤俊一、東大・北村聖、京大・秋山祐一、金沢大・中尾真二、兵庫医大・原宏

問い合わせは 0467-1321  
0886(関方)

「患者家族電話相談」  
白血病フリーダイヤル  
やまいこくふく  
0120-81-5929  
※番号が変更になりました  
毎週土曜日10時~16時

その疲れに、  
リゲインを。

肉体疲労時の栄養補給、滋養強壮に。  
**Regain**  
医薬品  
メーカー希望小売価格: 50ml・291円(本体価格)

フジテレビを  
見て見ぬふりは  
やめましょう。

フジテレビ